

府立高校特色化事業 久美高・輝きプランⅡ

～かがやきの杜交流実習～

7月9日、福祉系列3年生が久美浜町のかがやきの杜にて利用者の方々との交流実習を行いました。かがやきの杜には「生活介護事業所・あおぞら」と「就労継続B型事業所・つばさ」があります。

実習では、利用者の方がされている「さをり織」・「紙漉」・「枝豆の出荷準備」・「空き缶分別」・「古紙の回収」の仕事にグループに分かれて参加させていただきました。

参加前は「どうやって接したらいいですか？」と緊張気味だった生徒達が、それぞれの活動場所では自然に笑顔にかわり「利用者さんと共に過ごすことが楽しい」という、介護に大切な「心」を利用者さんから学ばせていただきました。

～生徒の感想～

「障害があって仕事のやり方を覚えるのに時間がかかっても、一度覚えるとしっかり作業ができることを知った」

「障害があるのはコミュニケーションが苦手とか、集中するのが苦手とかという部分があるだけのことだとわかった。」

「一緒に何かをする仲間がいることがとてもうれしいことだと知った。」

「障害があっても、みんな一生懸命自分のできることをされているということ学んだ」

